

## 海外の動物園と連携します！ 豊橋総合動植物公園と台北市立動物園の覚書締結



このたび、豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）と台湾の台北市立動物園は、生物多様性の保全に係る今日的課題の解決に向け、連携と協力に関する覚書を交わすことになりました。

下記の日程のとおり現地にて署名式を行います。

これにより、豊橋総合動植物公園の生物多様性の保全活動を推進するとともに、さらなる魅力を創り出して行きます。

### ◆覚書署名式

日 時：令和元年 12 月 15 日（日） 午前 10 時 30 分から

場 所：台湾 台北市立動物園 教育センター

出席者：豊橋市長 佐原 光一

豊橋市総合動植物公園 公園長 瀧川 直史

台北市教育局 局長 曾 燦金

台北市立動物園 園長 金 仕謙

### ◆今後の協力事項

- ・生物多様性に係る調査・研究、及び保全活動に関すること
- ・飼育動物の交換、フリーディングローンに関すること
- ・動物の生態や自然保護についての教育普及啓発に関すること
- ・職員の相互研修に関すること
- ・施設の相互利活用に関すること

### 参考

台北市立動物園：台湾台北市にある公立動物園。開園は 1914 年（大正 3 年）で、台湾で最古の動物園。1986 年（昭和 61 年）に現在の場所へ移る。165 ヘクタールの広大な敷地に、ジャイアントパンダなど約 400 種類の動物を飼育する大型動物園。

【問合せ先】 総合動植物公園 公園長 瀧川  
動植物園長 長谷川 （電話 0532-41-2186）

## 参考

### 台北市立動物園に関わりのある日本人

#### 片山竹五郎（かたやま たけごろう）

サーカス（曲馬団；きょくばだん）の団長である片山竹五郎は、1913年の末に興業のために台湾を訪れます。動物を飼育するのが好きだった片山は、温暖な台湾の気候が動物の飼育に適していることに気が付きます。毎月、日本から様々な珍しい鳥や動物を購入した彼は、1914年（大正3年）に台北市北部の圓山（まるやま；ユエンシャン）に私立の動物園「圓山動物園」を開設しました<sup>[1]</sup>。

#### 大江常四郎（おおえ つねしろう）

1915年（大正4年）、片山の私立動物園は台湾総督府に買い取られ、官営の「圓山公園附属動物園<sup>[2]</sup>」となり、1916年（大正5年）に正式開園<sup>[3]</sup>しました。日本からの動物導入を担当していた大江常四郎が、この官営動物園の飼養人になります。大江は初代の養育主任として職務に当たりましたが、1920年（大正9年）トラを入手すべく訪れていたシンガポールにて客死しました。

#### ※注釈

[1] 台北動物園の公式HPでは創業は「大江氏」となっていますが、書籍（島嶼浮世繪 2014 蔣竹山）や新聞記事（2010/2/18 聯合報 陳柔縉）では、片山竹五郎の私立動物園が起源とされています。私立動物園から始まった点は、1899年（明治32年）開園の安藤動物園に由来する豊橋のケースと似ています。

[2] 圓山公園附属動物園は、1920年（大正9年）に台北市の管轄となり、1921年に「臺北市動物園」に改称します。その後、1961年（昭和36年）に「臺北市立動物園」となり、1986年（昭和61年）に現在地へ移設されています。

[3] 飼育動物：クマ、クジャク、ヘビなど、70種 148頭羽

入場料：大人5銭、子供3銭、30人以上団体2割引、軍人半額